

2026・2・17

<2026年大学日本画展開催のお知らせ>

UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）は、運営母体であるあいおいニッセイ同和損保のメセナ活動として、全国の大学・美術大学と連携し日本画を学ぶ学生・卒業生に発表の場を提供しております。この企画は、日本画を志す若手作家の育成とともに、全国の美術教育・研究活動を支援し、日本画の伝統と日本文化の「美意識」「精神性」「技法」を未来へ受け継ぐことを目指すものです。

2026 年から 10 校が参加、若手日本画作家がそれぞれの作品を発信するロングラン企画（1 月～8 月）です。今回は 4 月 4 日（土）から東北芸術工科大学日本画専攻卒業、木村直広・山口裕子 2 名による展覧会を開催いたします。

■展覧会概要

タイトル	『海と山のことわり』 ～第 43 回大学日本画展 <東北芸術工科大学>～
会期	2026 年 4 月 4 日（土）～4 月 19 日（日） 11:00 ～ 19:00（月曜定休・最終日 17:00 まで）【入場無料】
会場	UNPEL GALLERY 東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F
参加作家	木村 直広（キムラ ナオヒロ）、山口 裕子（ヤマグチ ユウコ）
展覧会内容	蔵王連峰を背に自然豊かな山形の大学で学んだ二人は、日本海に近い新潟県新潟市と朝日連峰の麓の山形県朝日町で生活しながら作品制作を続けています。 木村は海に、山口は山に視点を注ぎ、人や生き物の営みや様々な事象への理解を深めます。そして、その過程で得た自然の摂理への気づきを絵に描き記しています。 世界の理から紡ぎ出した物語の数々をお楽しみいただけますと幸いです。 それぞれ 150 号の作品 1 点、100 号～40 号 3 点、10 号以下 5 点前後展示予定です。
主催	東北芸術工科大学
企画	UNPEL GALLERY
協賛	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

<ご連絡・お問い合わせ先>

ギャラリーオフィス 11:00～19:00 月曜定休（担当 / 井上・渡邊）

E-mail / tsubaki@unpel.gallery <https://unpel.gallery/>

TEL / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781 * お問い合わせは E-mail にてお願いします

■作家プロフィール

木村 直広

新潟県出身

2018 年 東北芸術工科大学大学院 修了

現在 日本美術院院友、新潟県美術家連盟日本画部門常務理事



【受賞歴】

2016 年 三菱商事アート・ゲート・プログラム 奨学生選抜

2020 年 日本美術院 院友推挙

2024 年 クルーズ客船「飛鳥Ⅲ」アート公募展 グランプリ受賞



「かくれあな」
2023 年制作
100 × 100cm
紙本彩色 岩絵具

【コメント】

現在は新潟市を拠点に制作活動を行っている。公益財団法人知足美術館に勤務し、学芸業務に携わりながら創作にも取り組み、地域の美術文化の発信にも関わっている。地元のギャラリーや美術館で定期的に個展を開催し、新潟から日本画表現の魅力を発信している。

山口 裕子

東京都出身

2012 年 東北芸術工科大学大学院 修了

2015 年 同大学博士課程 単位取得退学

現在 日本美術院院友、同大学日本画コース非常勤講師（2024～）



【受賞歴】

2009 年 日本美術院 院友推挙

日本学生支援機構優秀学生顕彰事業 文化・芸術分野 優秀賞
臥龍桜日本画展 大賞受賞

2010 年 公益財団法人佐藤国際育英財団 奨学生選抜

2012 年 三菱商事アート・ゲート・プログラム 奨学生選抜



「土に還った彩りがいつか誰かの花となる」
作品部分
2022 年制作
100 cm×100 cm
紙本彩色 墨 金泥 岩絵具 箔

【コメント】

山形を拠点に画家と町議会議員の 2 足の草鞋による濃密な日々を送っている。双方に邁進することで、自然や人間社会を見つめる解像度を高め、作品に反映。県内外の美術館・百貨店・ギャラリー等にて作品を発表するほか、地元企業からのクライアントワークや地域に根差したワークショップ等も実施。柴犬が好き。